

令和4年度病害虫発生予察指導情報

(果樹類・クサギカメムシ)

令和4年12月12日

鳥取県病害虫防除所

1. 情報の内容

- (1) ベニヤ板トラップ調査によると、クサギカメムシの越冬成虫数は、トラップあたり4.4頭と平年(8.0頭)に比べて少なかった。

表1 ベニヤ板トラップ調査*によるクサギカメムシの越冬量

調査地点	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	平年**
鳥取市河原町	19.5	25.0	29.0	24.5	8.0	13.5	8.5	19.9
鳥取市佐治町	0	9.5	6.5	5.5	9.0	1.5	8.0	5.3
八頭町	6.0	3.5	9.0	8.5	3.0	4.0	4.5	5.7
倉吉市関金町	2.0	1.0	2.5	0.5	1.0	0.5	0.5	1.3
倉吉市		9.0	54.0	10.5	12.5	24.0	8.5	21.0
湯梨浜町	6.5	3.0	7.5	11.0	7.5	15.0	3.5	8.3
北栄町	2.0	0.5	1.0	0.5	1.0	0.5	0	0.9
琴浦町	10.0	5.0	17.0	8.0	7.0	30.0	8.5	12.5
大山町	0.5	7.0	4.0	0.5	3.0	9.5	1.0	4.1
南部町	5.0	3.0	10.5	2.0	0.5	0	0.5	3.5
平均	5.6	6.7	14.1	7.2	5.3	9.9	4.4	8.0

* 表中の数字は、トラップあたりの成虫数を示す。設置数は2トラップ/地点

** 平年はH28または29年～R3年までの平均値を示す。

調査方法：9月28、29日にベニヤ板トラップ(4層)を各地点に設置。地点あたり2トラップ、ベニヤ板間の隙間は5mm。
11月28、12月1日にトラップを回収後、トラップあたりのクサギカメムシ越冬個体数を調査。

変更・改良点

- ① 平成25年度、調査方法の変更、新：ベニヤ板トラップ(隙間サイズ3mm)、旧：簡易小屋トラップ
- ② 平成26年度、隙間サイズ5mm及び6mmを追加
- ③ 平成27年度、隙間サイズ3mmは捕獲数が少なく、5mm及び6mmのデータを記載。
- ④ 平成28年度、隙間サイズ5mmに統一。八頭町、倉吉市、琴浦町は調査地点を変更。
- ⑤ 平成29年度、調査地点に倉吉市を追加。
- ⑥ 平成30年度以降、変更なし。

2. 防除上注意すべき事項

- (1) クサギカメムシは、果樹園内の作業小屋などで越冬しているため、休眠期の防除対策として、3月までに小屋を清掃し、越冬成虫を捕殺しておく。
- (2) 例年発生が多い園では、4月以降、定期的には場を見回るなどして春先の発生程度の把握に努める。